



第3回 ネイチャー甲子園 生きものの調査部門 結果概要・入賞校活動紹介

生きもの調査部門 結果概要

- ・ エントリー : 49校 51グループ (29都道府県)
- ・ 総投稿数 : 12,855件 ⇒ 17,230件 ⇒ **34,123件**
- ・ 投稿種数 : 3,275種 ⇒ 4,201種 ⇒ **7,076種**

和分類	第1回	第2回	第3回
哺乳類	19	24	37
鳥類	135	121	205
両生類・は虫類	41	55	67
魚類	257	187	253
昆虫・クモ	1,439	2,214	3,960
種子植物・その他植物	1,384	1,600	2,554
合計	3,275	4,201	7,076

生きもの調査部門

第1位

沖縄工業高等専門学校

(沖縄県)

Biome 投稿グループ名：沖縄高専

沖縄工業高等専門学校

沖縄高専は、沖縄本島北部（名護市・辺野古）に位置しています。



今回は、「生物資源工学科」所属の学生を中心に、「生きもの調査部門」出場に向けて活動しました。

活動内容： 見つけ取り、スウィーピング、夜間ライトトラップなど



昆虫の調査：主に沖縄本島北部。スウィーピングで多数の昆虫を観察



オキナワカラスアゲハ



ハグルマヤママユ



ハガタベニコケガ



オキナワチョウトンボ



アカモンキゴミムシダマシ



ハグルマノメイガ



ミドリナガボソタマムシ

植物・鳥類の調査：金武町の水田地帯にて様々な鳥類を観察



ヤンバルクイナ



ノグチゲラ



ツバメチドリ



リュウキュウコノハズク



リュウキュウアカショウビン

工夫した点：調査を重ねるにつれて、新しく発見する種が減っていった
→ 新たな調査地を開拓することで、種数アップを狙った

沖縄工業高等専門学校 調査の様子

「第2回ネイチャー甲子園
生きもの調査部門（植物の部）」
では惜しくも2位…！



→ 今年は1位を目指して、海洋・離島まで調査範囲を拡大しました！



生きもの調査部門

第2位

佐賀県立致遠館高等学校

(佐賀県)

Biome 投稿グループ名：致遠館

佐賀県立致遠館高等学校

主な活動場所



東よか干潟



吉野ヶ里遺跡



小城公園

特徴

佐賀には干潟や湿原、遺跡、公園など様々な自然環境が生活の近くに点在しており、多くの生物が見られる

今年工夫したこと

事前に佐賀県で見られる生き物の情報を集めたり、活動拠点を増やし多くの生き物を観察できるようにした

佐賀県立致遠館高等学校

今年見つけてうれしかった 生き物



佐賀県立致遠館高等学校

今回の活動での発見



マツヘリカメムシ

去年は見られなかったマツヘリカメムシ。他にも、チュウゴクアミガサハゴロモの成虫や卵が佐賀県の各地で見られ、外来種の分布が広がっているように感じました。



チャバネアオカメムシ

今年はチャバネアオカメムシやホソハリカメムシなどのカメムシが大量発生していました。特にチャバネアオカメムシとツヤアオカメムシは1つのライトに多くて4～5匹ほどの成虫が集まっていました。



アオビタイトンボ(オス)

南方系のトンボもオベリスクをするほどの暑さ。以前はベッコウトンボが見られた白石原湿原では、たくさんのアオビタイトンボが飛び交っていました。

生きもの調査部門

第3位

東京都立日野高等学校

(東京都)

Biome 投稿グループ名：都立日野高校科学部

東京都立日野高等学校

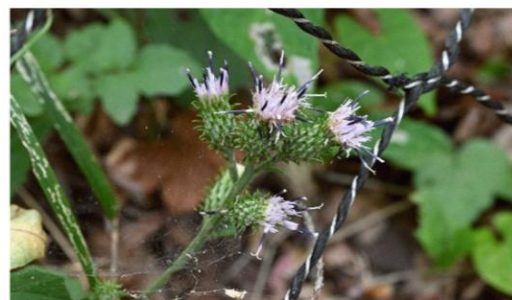
～学校周辺の自然環境～

高幡不動駅から徒歩20分の場所にあり、
周囲には浅川や多摩川、高尾山といった自然環境がある

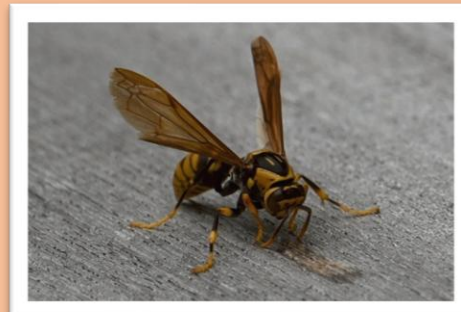
～活動の内容～

生物室で飼育している魚と蛇との関わりを通して
動物への理解を深めている
浅川周辺や高尾山といった身近なところでの調査や
地質調査、天体観測などを行っている
調査中に見つけた動植物は部員で調べている
他の部活とコラボ活動などを行っている





東京でも、こんなにいる！
動・植・物

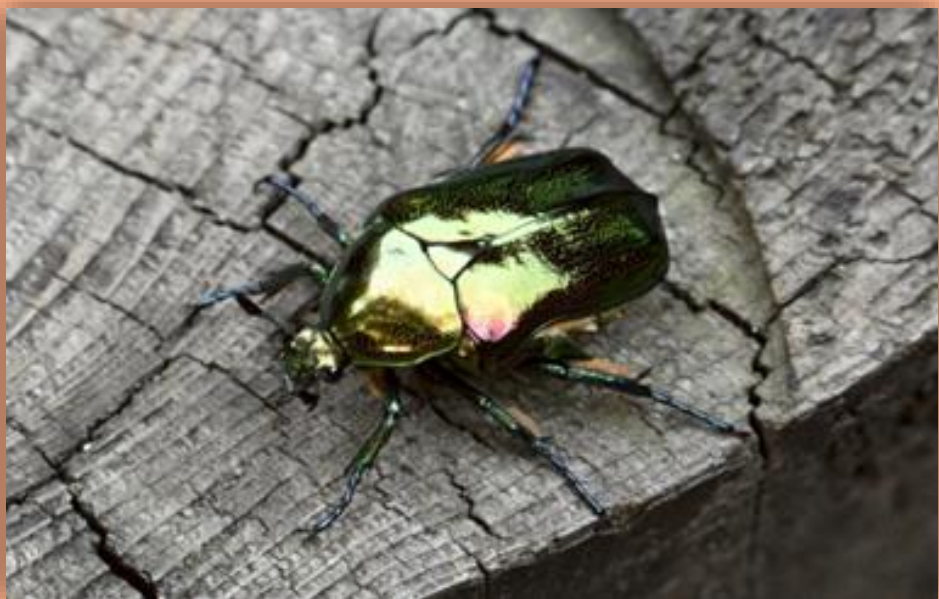


部員全員で推せる！ 動植物 BEST 3



ニホンリス

リュウキュウツヤハナムグリ



ツチアケビ

